

# 「学びの変革」通信

## イノベーション人材育成授業研修会 (理科実験実技講習会)

### 「思いっきり理科を楽しんでください！」

これは、7月11日(金)に郷ヶ丘小学校で行われた「イノベーション人材育成授業研修会(理科実験実技講習会)」において、講師である福島県教育センター 指導主事 佐藤 正仁先生が研修開始直後に話された言葉です。「教師が理科的な事象を楽しむからこそ、子どもたちも目の前の事象を楽しみながら実験や観察に取り組むことができる」という佐藤先生の熱い思いを感じながら研修がスタートしました。

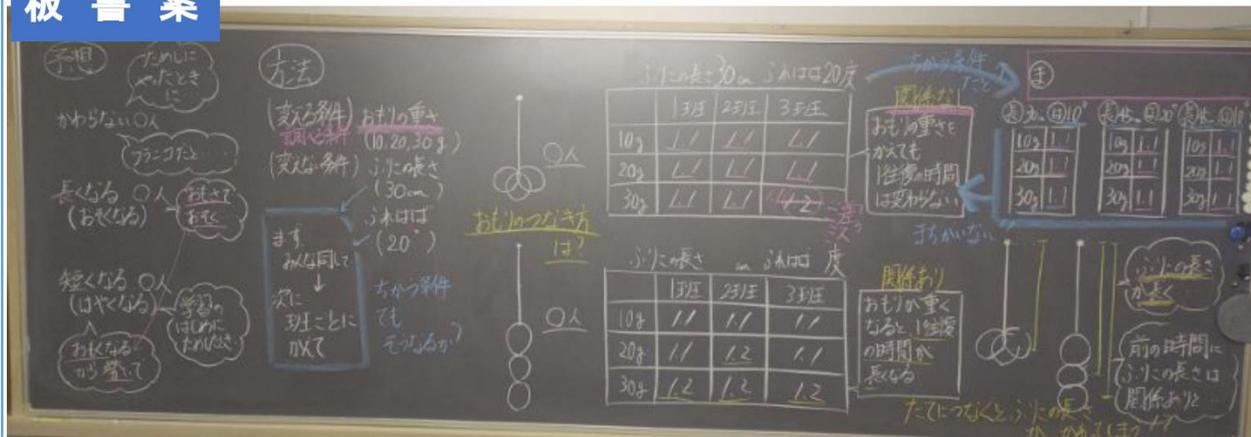


初めに「理科で大切にしてほしいことをわざとやらない授業」として、佐藤先生に模擬授業をしていただきました。その後の協議では、

- ・ 実験の方法・技能を全く教えないのはおかしい。
- ・ 予想で理由に触れない。(根拠を明確にしないといけない)
- ・ 準備を教師が全てお膳立てするのは・・・
- ・ 条件を変えて問題を発展させていく必要がある。
- ・ 生活に戻す、何のために学んでいるかに気付かせる。

ということが、研修者から挙げられ、理科教育における「大切なこと」を再認識しました。

### 板書案



#### 【必ずやろうと意識していること】

- 子どもの言葉を板書に位置づける(吹き出し)
- 視覚化する(図・矢印)
- 色で整理する(赤:おもりの重さ、黄:つなぎ方、青:科学的な問題解決)
- ◎ 子どもの思考の流れに応じて、板書を変える(案はあくまで案！)

【佐藤指導主事の資料より】

佐藤先生の理科の授業で意識していることは、上記の4点だそうです。さて、先生方の教科等において、先生方が「意識していること、大切にしていること」はどんなことでしょうか？少し時間を見つけてご自身の教育観を見つめ直してみませんか？

自分の授業で「意識していること、大切にしていること」を書き出してみましょう。

- ◎
- 
- 
- 
-

